清澄

平成31年1・2月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322－1
© 清澄寺
TEL 04（7094）0525 番
FAX 04（7094）0527 番
振替 00140－5－55501
印刷所
天津 ㈲ブラザー印刷

送料共1部100円

ご挨拶

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

清澄山上の旭が森に、初日の出を晴れやかに拝みました。今年の元旦もすばらしい晴天に恵まれ、東天からさし上る初日は見事に輝き渡り、清澄山の大自然をくまなく照らし続け、新年に相応しいまことに感激的な年頭の一日でした。日蓮聖人がはじめて「南無妙法蓮華経」の「お題目」を唱えられた朝も、御師の道善房の持仏堂で「法華経」の新たな教えを説かれた午の時も、このように晴れやかな光輝に満ち溢れていたことでしょう。

清澄寺では、大勢の方々のご丹誠によって、一昨年春に新しくなった本院をはじめ、境内のたたずまいは、ようやく周囲の風光になじんで、立教開宗の聖域としての景観が整ってまいりました。今や「輪奐の美」を備えた清澄寺は、「日蓮聖人のお題目始唱の地」としての面目を一新して、法華経信仰の法灯を高く掲げて後の代に相承し、いつまでも「お題目」を唱え続けます。皆様も、是非とも清澄山の霊域を訪れて参籠し、東海の日の出に「お題目」を高らかに唱え、御功徳に浴されることを念願する次第です。

今年はいよいよ改元の年、初夏には天皇が退位されて平成の世も新しい元号にかわり、新たな時代の訪れが待たれます。その二年後には、日蓮聖人ご降誕八〇〇年の記念すべき春を迎え、法華経信仰のさらなる高まりが予見されます。日本の国際化の一歩を進めるオリンピックも、来年の夏です。今年の晴れやかな元旦の姿は、仏の広大な慈悲をあらわし、日本国ないし世界の平和な未来を指し示す光景に違いありません。輝かしい新年にあたり、清澄山の山上からはるかに仏法の永遠と世界の平安、さらには皆様のご健勝をお祈りいたします。

合掌

平成三十一年　元旦

清澄寺十三代別當　二宮日敬

お知らせ

3月

18~24日
彼岸会

27日18:30
信行会（唱題行）

4月

27日14:00
立教開宗会

19:00
報恩唱題行

28日 4:50
開宗暁天法要

お正月各種行事

水行式

23時30分、大晦日恒例の水行式が、団扇太鼓を先導に5名の修法師が本堂脇より境内に出てきまして、大森執事を導師に、小坂田山務員、また法助に来られた清水龍法、林洋明、永田泰久師の計5人で行われました。

また、水行者が寒水をあびるたび、見に来られていた参列者も合掌をし、一緒になって身心を浄めておりました。

除夜の鐘

水行式終了の後、鐘楼堂にて二宮別當の挨拶があり、第一鐘が打ち鳴らされました。

続いて亀田郁夫鴨川市長、佐藤則泰鴨川市消防団長、参籠者、一般の方々と続き、それぞれの煩悩を打ち消す様に、心を込めて椎鐘されておりました。

新春一番祈祷

新年を迎えて初めての御祈祷「一番祈祷」が宮崎執事長導師のもと厳修されました。

新しい年の御利益を頂こうと、堂内には参籠者と一番祈祷申込者で満堂になり、全国の信徒様から申し込まれたお札500体が御宝前に奉安され、平成31年の年中安泰・年中無難を祈り、祈願の読み上げがなされました。

暁天法要

清澄の旭が森は、離島を除くと日本で一番早く日の出が昇る場所でもあります。

冷たい風に耐えながら登り来る旭日に向かい、南無妙法蓮華経のお題目を唱え、太鼓が打ち鳴らされ御来光をお迎え致しました。

元旦祝祷会

新年を迎え、仏祖三宝諸天善神に新しい一年の安泰を祈願させていただくのが、元旦祝祷会です。

本年は、雲の影響で予定の日の出時刻よりも遅れましたが、すばらしい御来光を拝することができました。

大晦日より参籠の方々にとっては、旭日遥拝、元旦祝祷会の参列をされ、本年も良いお年をお過ごしいただける事と思います。

清澄寺では、1日から7日まで新春特別祈祷を行っております。本年は7日まで晴天に恵まれ、大勢の方にご参詣くださり、境内には読経の声と木剱の妙音が響きわたりました。

節分会

雪もまだ残る2月3日、清澄寺恒例の節分追儺会が奉行されました。

本堂では、早朝より修法師による厄除け祈願や漁業関係者が参詣され、修法木剱の音が響き渡りました。

午前11時過ぎには、信育道場大玄関より、修法師の太鼓を先頭に、二宮別當、当山の責任役員である森英介衆議院議員、亀田郁夫鴨川市長、川名康介千葉県議会議員、清興出演の新沼謙治さん、特別年男年女、ご来賓の皆様のお練り行列が

行われました。

本堂に着き、二宮別當大導師のもと節分追儺大法要を厳修。法要後祖師堂前にて、境内一杯の参拝者に向けて年中安泰無病息災を祈り「福は内、福は内、福は内」という掛け声の中、豆が撒かれました。

参拝者は、掛け声と共に撒かれる豆を、一つでも多く受け取ろうと両手を広げて待っている方もおりました。

豆まきが終わると信育道場に場所を移し、抽選会が行われ、特賞5名の方に宿泊券などの景品が送られました。

その後、特設ステージにて新沼謙治さんによる清興が行われ、今年は日曜日と晴天に恵まれ、大勢の参詣者で境内が埋め尽くされました。

第4回 度牒交付式

平成30年度、第4回度牒交付式が、2月7～8日にかけて実施されました。

全国各地の寺院から28名の度牒生が来山され、宗務院の指導により信育道場にて仏前作法ならびに読経テストを受けられました。

その後、祖師堂にて交付式の予行練習を行い、摩尼殿にて縁起説明やお開帳を受けられ、夜には千葉南部布教隊による法話を拝聴し就寝されました。

翌日は午前5時45分に起床し、布教隊の先導により旭が森にて旭日遥拝の法要を行い、午前6時50分より、中川法政宗務総長を大導師に、度牒交付式が開催されました。

28名の度牒生一人一人に中川宗務総長より輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝に誓い終了いたしました。

法話室

平成最後の正月、平成31年の幕開けです。

「新年明けましておめでとうございます」

本年も宜しくお願い申し上げます。

今年は、少し雲もありましたが、元旦には素晴らしい御来光を拝む事が出来、7日まで晴天に恵まれました。比較的温度も高く、1月中雪は降りませんでしたが、ここは清澄であります。2月1日には、積雪もあり、辺り一面雪化粧になりました。

「平成最後の」と世間でも何かと騒いでおります。

立教開宗の霊場、日蓮大聖人、虚空蔵菩薩への平成最後のお礼参りのお気持で、お足をお運びになっていただければありがたく存じます。

2月に入り、立春を過ぎましたが、まだまだ寒い毎日が続いております。インフルエンザも流行っておりますので、どうぞお身体御自愛下さい。